

適用規格						
定格	使用温度範囲	(注1) -40 °C ~ +105 °C		保存温度範囲	△2 (注2) -10 °C ~ +60 °C	
	電流	3 A		保存湿度範囲 △2	相対湿度 85%以下 (但し結露が無いこと)	
	電圧	AC 250V				
性能						
項目	試験方法	規格			QT AT	
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。			○ ○	
	表示	目視にて確認。			○ ○	
電気的性能	電圧降下	DC 12V, DC 1Aで測定する。			○ -	
	低電圧低電流抵抗	AC 20mV, AC 1mA及び10mAで測定する。			○ -	
	絶縁抵抗	DC 500Vを30秒間印加する。			○ -	
	耐電圧	AC 1000Vを1分間印加する。			○ -	
機械的性能	繰り返し動作	50回の抜き差しを行う。			○ ○ -	
	耐振性	周波数20~600Hz, 加速度1.0~43.1m/s ² , 3軸各3時間にて試験する。			○ ○ -	
	耐衝撃性	耐熱性後、加速度981m/s ² にて、3軸の両方向に3回衝撃を加える。			○ -	
	ロック強度	かん合軸方向に引張り、ロックが破壊した際の力を測定する。			○ -	
環境的性能	耐湿性	温度60°C, 湿度90~95%中に96時間放置する。			○ -	
	サーマルショック	温度-40→常温→120°C→常温 時間 30 → 5 → 30 → 5分 を 500サイクル試験する。			○ -	
	耐熱性	温度120°C中に120時間放置する。			○ -	
	耐寒性	温度-40°C中に120時間放置する。			○ -	
	耐亜硫酸ガス性	40°C, 湿度90~95%, 濃度10ppmの亜硫酸ガス中に24時間放置する。			○ -	
	はんだ耐熱性	指定の温度プロファイルに2回通してはんだ付けを行う。			○ -	
	はんだ付け性	指定の温度プロファイルにてはんだ付けを行う。			○ -	
△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		
△2 3	DIS-T-00009122	AN. SAIKI	HH. TSUKUMO	20210413		
備考				承認	AR. SHIRAI 20180105	
注1. 通電時の温度上昇を含みます。				検図	HS. OZAWA 20180105	
注2. 保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。△2				担当	YT. HAYAKAWA 20180105	
				製図	TF. HIRANUMA 20180105	
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-361742-10-00			
HRS 製品規格表		製品名	GT25H2-40DP-2.2H(10)			
ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0775-0090-3-10		△2 1/1	